協議事項(5)

ふれあいバス印旛支所ルートにおける地域公共交通確保維持改善事業の 事業評価について

1. 主旨

国庫補助金の交付を受けて運行しているふれあいバス印旛支所ルートについては、平成30年度事業(平成29年10月1日~平成30年9月30日)が終了したところです。その事業評価について、平成31年1月末日までに、国土交通省関東運輸局へ協議会名で提出することとなっておりますことから、本交通会議において、提出書類の承認をいただくものです。

2. 提出書類

資料 25~26 ページ

別添1「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」

別添1-2「事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について」

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月 日

協議会名:印西市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
社	ス) 運行系統:印旛支所ルート (印旛支所〜竜腹寺〜印旛支 所) 23. 2km 運行日:毎日運行 運行時間帯: 7時30分〜18時23分 運行本数: 8便/日(循環型)	た状況を踏まえ、利便性向上 策を検討した結果、平成27年 10月より運行本数を1日6便 から8便に増便するとともに、 運行ダイヤを見直した。 この結果、平成28~29年度 の利用者数は、順調に増加し、 平成30年度については、1日 あたりの平均利用者数の目標 を、当初の50人から55人に上 方修正した。	が集積し大規模な商業施設 が立地する印西牧の原駅 周辺エリアを結び、荒野・竜 腹寺地区を経由することに より、公共交通不便地域の 解消を図ることを目的に、	・前年度に比べ、さらに利用 者数が伸び、平成30年度 を通して、目標人数55人は 達成された。 ・公共交通不便地域(竜腹 寺、荒野)における利用が あり、公共交通不便地域の 解消が図れた。	・平成31年度は、目標値をさらに上方修正し、また利用原は、目標間動策の 注視しつ利用促進を目指用上更な 対明者の増加を目指す。 ・印をとまた利用版を目指する、 ・印をとままでは、 ・印本を対象が、 ・印本を対象が、 ・印本を結成30年12月1日の が、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では

平成31年1月 日

協議会名:	印西市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)	印西市は、平成22年3月の印旛村及び本埜村との合併により市域が広がり、市内のバス交通は、合併前のそれぞれの地区を中心に運行する路線バス及びコミュニティバスが担っている。また、印旛地区及び本埜地区は、路線バスが幹線道路を中心に運行されているものの、地域の高齢化が年々進んでおり、自家用車を持たない高齢者等の移動が困難となっている。 一方でマイカー依存も進んでおり、利用者の減に伴うバス路線の廃止なども懸念されるなか、高齢化等による移動制約者の増加により、今後、公共交通の必要性がより一層高まるものと考えられ、市内の中核拠点を結ぶバス公共交通を確保し、地域で一体感のある「まちづくり」を支えるバス公共交通網を構築していく必要がある。

印旛支所ルート実績データ

年月	運行日数	運行経費	運賃収入	利用者数
H29年10月	31	1,402,006	141,010	1,926
H29年11月	30	1,356,780	136,320	1,775
H29年12月	31	1,402,006	134,820	1,808
H30年1月	31	1,402,006	133,661	1,745
H30年2月	28	1,266,328	125,590	1,692
H30年3月	31	1,402,006	159,920	2,068
H30年4月	30	1,442,220	178,713	2,158
H30年5月	31	1,490,294	180,771	2,190
H30年6月	30	1,442,220	154,950	2,123
H30年7月	31	1,490,294	161,910	2,226
H30年8月	31	1,490,294	167,590	2,381
H30年9月	30	1,442,220	161,010	2,044
計	365	17,028,674	1,836,265	24,136

1日あたり

66.13